

笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校
 令和2年度 飯野中学校 学校だより 第50号
 自律 志保井が丘 協働
 挑戦 2020.10.12 発行 文責 校長 目黒 満 創造
 教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなで育む学校

新世代の生徒会役員を任命しました。



今日10月12日の全校集会で、9月の選挙で選ばれた新生徒会本部役員を任命しました。金谷会長以下9名の新本部役員は、再来週24日(土)に予定されている松桜祭に向け3年生の生徒会役員とともに、新たな気持ちでwithコロナの松桜祭を創造していきます。松桜祭を手始め



に、生徒会の仕事を通してよりよい飯野中学校づくりに精一杯取り組んでほしいと思います。

任命の後、全校生徒に向けてこんな話をしました。1時間目の開始時刻が気になって、短時間でのお話となってしまったので、本来話し

たかった内容を付け加えて、詳しくお伝えします。

○ 新しい松桜祭創りにも、よりよい学校創りにも「正解」はない

これからの2週間で、withコロナの新しい松桜祭を創って行くのですが、その方法や新たな松桜祭そのものの「正解」はありません。一人一人が真剣に考えて、話し合っ、知恵を絞って、力を合わせていく中で、新しい方向性ややり方が生まれ、新しい松桜祭の形ができてきます。方法も多様であり、新たな松桜祭もどんな形になるのか、一つの正解があるわけではありません。よりよい学校創りも同じで、取り組むべきことに「正解」はありません。

みんなが精一杯取り組んだ結果、「楽しく思い出に残る素晴らしい松桜祭」「みんなが笑顔と思いやりを持ち、たくさんのチャレンジができるよりよい飯野中」ができるはずです。

○ 一人で抱え込まずに、友だちと、仲間と話し合うこと

学校生活や行事に向けて、どうすればいいか悩むことがあると思いますが、そんな時、一人で考えてもいいアイデアや解決策はなかなか生まれてきません。友だちに、仲間に相談し、一緒に考える場を持つことで、よいアイデアや方向性が見えてきます。1+1が2ではなく3にでも5にでも、時には10になる場合もあります。みんなで一緒に考え、話し合うことを大切にしてください。

○ 新しいことにどんどんチャレンジすること

伝統を受継ぐことで、これまでの良さを引継ぐことができます。そこに、自分たちが考えた「新しいこと」をどんどん付け足していきましょう。新たな松桜祭、新たな飯野中創りに向け、自分たちのアイデアや「こうなったらいいな」「こんな学校になったら素敵だな」という思いを生かし、失敗を恐れず、新たな取組にどんどんチャレンジしてください。失敗したらまた考えてやり直す。

新体制での飯野中、松桜祭を皮切りに新たなスタートです。